

災害時の情報の入手方法を確認しましょう！

9月1日は防災の日



「防災の日」は、1923(大正12)年9月1日に起きた関東大震災にちなみ、台風や豪雨・洪水、地震・津波などの災害について認識を深め、災害への備えを充実させることで、災害による被害を減らそうと「防災週間」(防災の日を含む1週間)とともに設けられました。

災害時には、普段からの備えと正確な情報を得ることが大切です。村では「東海村自然災害ハザードマップ」(平成30年3月発行)で、日頃の防災対策のほか、洪水や津波、土砂災害の恐れのある区域を紹介しています。また、災害の発生やその恐れがあるときは、村からさまざまな方法で情報を発信します。

いざというときに、自然災害から自分自身や家族の身をどのようにして守ればよいのか、どうやって村などの情報を得るかを、あらかじめ家族で話し合い、確認しておきましょう。

【問い合わせ】防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(☎282-1711 内線1523)

情報の入手方法にはどんな種類があるの？

■防災行政無線(戸別受信機・防災ラジオ)

災害時における重要な情報提供手段のひとつであり、屋外子局(屋外スピーカー)を通して村などからお知らせしている情報を、屋内でも聞くことができるものです。村では、防災ラジオを無償で貸与しています。お持ちでない方や故障していると思われる方は、防災原子力安全課(役場行政棟5階)へお越しください。

■防災情報ネットワークシステム

災害が発生した場合には、村内6つのコミュニティセンターや総合福祉センター「絆」、総合体育館を、基幹避難所として優先的に開設します。その際、村の災害対策本部からの情報をいち早く得られるように、各基幹避難所のロビー等に設置しているディスプレイに、避難所の開設情報や被害状況、避難指示の内容などを文字や写真で映し出します。

■緊急速報メール

非常時、国や県、村では、村内にいる方の携帯電話やスマートフォンに災害情報や避難指示等をお知らせする「緊急速報メール」を発信します。

■ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)

FacebookやTwitterなどを用いて、村からの緊急情報を素早く皆さんのもに届けます。スマートフォンをお使いの方は、村公式アプリ「こちら東海村」からも情報を受け取ることができます。

■全国瞬時警報システム(J-ALERT)

村では、J-ALERTの機能を防災行政無線と連動させています。そのため、津波やミサイル発射など緊急性の高い情報については、関係機関からの情報が届き次第、防災行政無線で直ちに放送します。これにより、政府から伝達される緊急情報を速やかに皆さんのもとへ届けることができます。

戸別受信機・防災ラジオ動作確認のポイント



戸別受信機



防災ラジオ

- ▽「電源/受信ランプ」が緑色に点灯している
- ▽電源スイッチが入っている
- ▽電源プラグがコンセントから抜けていない
- ▽音量を適切に調整している
- ▽ロッドアンテナが全て伸びている
- ▽電池を定期的(年1回程度)に交換している

上記の事項を確認した上で、時報チャイムを受信できない、または電源を入れているにも関わらず、「電源/受信ランプ」が点灯しない場合は、機械が故障している恐れがあります。